

問

大正九年六月九日

電報 六月八日午後三時十分着

陸軍大臣宛

朝鮮軍司令官

朝鮮三三三朝特二九號三一號ヲ以テ報告

咸北穩城郡穩城東南方甄山附近

包圍部隊ハ五日以後引續キ搜索ヲ續

行中ナリ包圍部隊ニ屬スル歩七三隊

隊二等卒一北蒼坪西南約二里

洞附近ニテ六月三日行衛不

明トナリ搜索中ナリ

1867

1872 / 871

恩連第二〇三號

六月十日

大正九年六月拾九日
第...號

閱



十一月二十三日
高級副官殿

右五郎校



1868

本支相対別紙、如ク支相致可然ト存ス
決裁支度 (十一月二十六日陸六三ヲ原文免信用
紙ニ就テ調査スルニ又一字相違シルニ)

工部省
陸軍省
陸軍

陸

軍

1873
1872

第一八號

電報譯

上月發

日午前後ニシ時五分著

次官宛

宛

發信者

朝鮮軍司令官

朝八九

陸六一三電文及函電アリ


用者 爲 立 印

1869

1873

陸 軍

陸軍電報信署信紙

局 著				局 發				名氏所居人信受		
印 附	日	技 手	紅 箋	字 號	日 時 分	第 一 〇 七 號	局 報	11 13 2 5 2 2		
				11 月 7 日 10 時 2 分				定 指 10 事 記 陸軍大臣 逕達		名氏所居人信發 番 著 號 信 第 一 八 號
				1870				1874		

Vertical text on the right edge of the page, likely a filing or tracking number.